

# 快挙

過疎地域自立活性化優良事例表彰において

## 谷自治振興会が総務大臣賞を受賞!!

地域づくりは自立の精神  
谷自治振興会会長 澤田定成氏に  
インタビューしました



谷自治振興会  
会長 澤田定成氏

**問** 次々と先進的な事業  
に取組まれている。  
事業継続の秘訣は何か。

**答** 谷地区は60歳以上が  
半分よりちょっと多  
い。若い人は少ないよ  
うだが、バランスが  
いい。中心となつて活  
動している50代60代  
は若いときから色々  
な活動に参加してき  
ている。

ひと声掛れば、10人  
や15人はすぐに集ま  
って、よしやるぞとい  
う体制が取れる。若  
い人は今は活

動に参加できない人  
もいるが、何年か先  
には一緒にやれると  
確信している。

デマンドバスはど  
んどん利用者が増え  
る状態というのはい  
い。利用者が多いの  
は交通弱者がたく  
さんいるということ  
だ。事業の継続は  
これからの退職して  
地域に帰ってくる人  
たちも参加し担って  
くれると思つてい  
る。

デマンドバスの維持  
費や運転者への謝  
礼は、住民にバス  
のためだけに戸い  
くら負担して欲しい  
とは言いにくい。県  
や町の補助や視察  
料が主な財源だ。

運転者は仕事の都合  
で帰ってこないか  
ら、喜んでもらえる  
ことが力になってい  
る。父親が一生懸命  
活動している姿を  
見てきた子供たちが  
やがて帰ってきて  
活動を引き継ぐ。神  
楽がいい例だ。

**問** JAの撤退、保育所、  
小学校の統合などを  
克服して地域を守つて  
こられたが、どのような  
努力があったのか。

**答** 一番大きかったのは  
ここに公民館(現公  
民館長 永田一博氏)が  
あったことだ。常駐  
の担当者がいれば支  
所の機能も果たして  
きた。

旧谷小学校は先生や  
子供や年寄りや地域  
の人がかわりを持  
って、目に見えない  
力を持っていた。谷  
笑学校に衣替えし  
たが、元の小学校  
のように地域の人が  
深い係わり合いを  
もてる施設になら  
ばよいと思つてい  
る。また、たくさん  
の人がここを訪れ、  
交流の拠点として  
機能することも考  
えていきたい。

**問** 行政に求めることは  
あるか。

**答** 求めることはたく  
さんある。事業のた  
めに色々な補助金  
の申請をしてきた。  
しかし、やれるところ  
までは自分たちで  
やろうと考へてい  
る。出来ないところ  
を支援して欲しい。  
だからあれもこれ  
もやってくれとい  
言つてもいい。金  
がなくて動くの  
か、動くから金  
が要るのか、金  
のためにやら  
れる事業は  
やりがい  
を感じ  
ない。

自分たちで努力して  
達成感を味わえる。  
行政は若い人たちが  
やる気を出すような  
金の使い方をして  
欲しい。



デマンドバス

### 編集後記

飯南町議会は8月1日、議  
会構成を再編し、心機一  
転全員で頑張っています。  
議会広報編集委員会も新  
メンバーとなり、町民の  
皆様に“親しまれる広報  
づくり”に一杯努力して  
おります。町内は、ほ  
ぼ稲刈りが完了の様  
子ですが、台風に見  
舞われ稲の倒伏には  
心を痛められたこと  
と存じます。生産者  
米価が少しでも上  
昇すればと希望し  
つつ、また、安全に  
秋作業が完了とな  
ることを祈念して、  
あとがきいたします。

議会広報編集委員会  
瀧尻 行雄



今号の編集会議

谷自治振興会

島根県飯南町

四季折々の溪谷に神楽舞う里

